021889	作文の考へ方と模範答案	小林操	言語	2	56	28
021890	学習・受験国文解釈根抵要語精解	小林操	言語	2	56	28
021891	外国地理・問題の見方と解き方：受験用自習用	堀江英造	言語	2	56	28
021892	魂の競売：アルメニア殉教秘話	門多栄男	言語	2	56	28
021893	小鳥	奥川夢郎	言語	2	56	28
021894	一兵卒の手記より：兵営夜話	奥川夢郎	言語	2	56	28
021895	新版都々逸唄	奥川夢郎	言語	2	56	28
021896	カメラを持つ人々の為に	奥川夢郎	書	2	56	28
021897	カメラを携へて東京の近郊へ	奥川夢郎	書	2	56	28
021898	軽井沢を中心として	奥川夢郎	言語	2	56	28
021899	自働車：機構・運転及修繕法	橋本精	言語	2	56	28
021900	瓦斯倫自動車	橋本精	書	2	56	28
021901	瓦斯倫自動車	橋本精	書	2	56	28
021902	児童美術創作手工の実際	石野隆	言語	1	28	28
021903	児童工芸の実際：図画と手工の連絡	石野隆	言語	1	28	28
021904	欧米最近の図画手工	石野隆	言語	1	28	28
021905	珠算練成：中等珠算教科書	井上信行	言語	2	56	28
021906	婦人参政審判の日	姫野徳一	言語	2	56	28
021907	満蒙を踏破して	姫野徳一	言語	2	56	28
021908	満鉄総裁論	姫野徳一	言語	2	56	28
021909	北支の政情	姫野徳一	言語	2	56	28
021910	支那の抗日記録：日支の不幸	姫野徳一	言語	2	56	28
021911	少年少女中国読本	姫野徳一	言語	2	56	28
021912	供託物取下便覧：附・書式と実例	岡部鶴象	言語	2	56	28
021913	文化婦人の生活	山本久栄	言語	2	56	28
021914	視学の観たる教員生活の実相	関勝男	言語	2	56	28
021915	高等小学校教育の動向と実践	関勝男	言語	2	56	28
021916	事実算に於ける発展的作図指導の実際	桜井隲需	言語	2	56	28
021917	よい子に育てる家庭の教育	桜井隲需	言語	2	56	28
021918	母のための国民学校の話	北野藤治郎	言語	2	56	28
021919	修養読本雞肋前集	佐藤粛	言語	2	56	28
021920	スパイ禍の日本	東条貫太郎	言語	2	56	28
021921	徹底せる思想国防論	嵐田栄助	言語	2	56	28
021922	神霊の働き	大矢津艱	言語	2	56	28
021923	戦前戦後の世界	大島高精	書	2	56	28
021924	米国と太平洋	大島高精	言語	2	56	28
021925	劫火：歌集	野瀬市郎	言語	2	56	28
021926	恋愛犯罪実話集	保科久義	言語	2	56	28
021927	歓楽の支那：南洋の陶酔郷	藤島晃	言語	2	56	28
021928	海運界の驍将：人物併観	松尾小三郎	言語	2	56	28
021929	日本海中心論：孤島的自覚	松尾小三郎	言語	2	56	28
021930	日本海事仲裁判決例	松尾小三郎	言語	2	56	28
021931	国策是正郷土に還れ	松尾小三郎	言語	2	56	28
021932	糟屋郡教育銘鑑	藤和一郎	言語	2	56	28
021933	教育珠算の理論と実際	八木瞭衛	言語	2	56	28
021934	珠算教授原論	八木瞭衛	言語	2	56	28
021935	産業組合倒れるか？中小商工業者の没落か？	石川惇三	言語	2	56	28
021936	行き過きたる産業組合中小商業の繁栄と商権擁護：産業組合是正論	石川惇三	言語	2	56	28
021937	日本道に立脚せる労作教育の新構成	西治公	言語	2	56	28
021938	行事教育の理論と実際	西治公	言語	2	56	28
021939	外国為替概論	青木嗣夫	言語	2	56	28
021940	警察実務提要	中神清	言語	2	56	28
021941	警察実務提要	中神清	言語	2	56	28
021942	平価切下と貨幣の価値	中村仲助	言語	2	56	28
021943	模範子供服の裁ち方	山下盛也	言語	2	56	28
021944	学級経営の理論と実践	稲村玉緒	言語	2	56	28